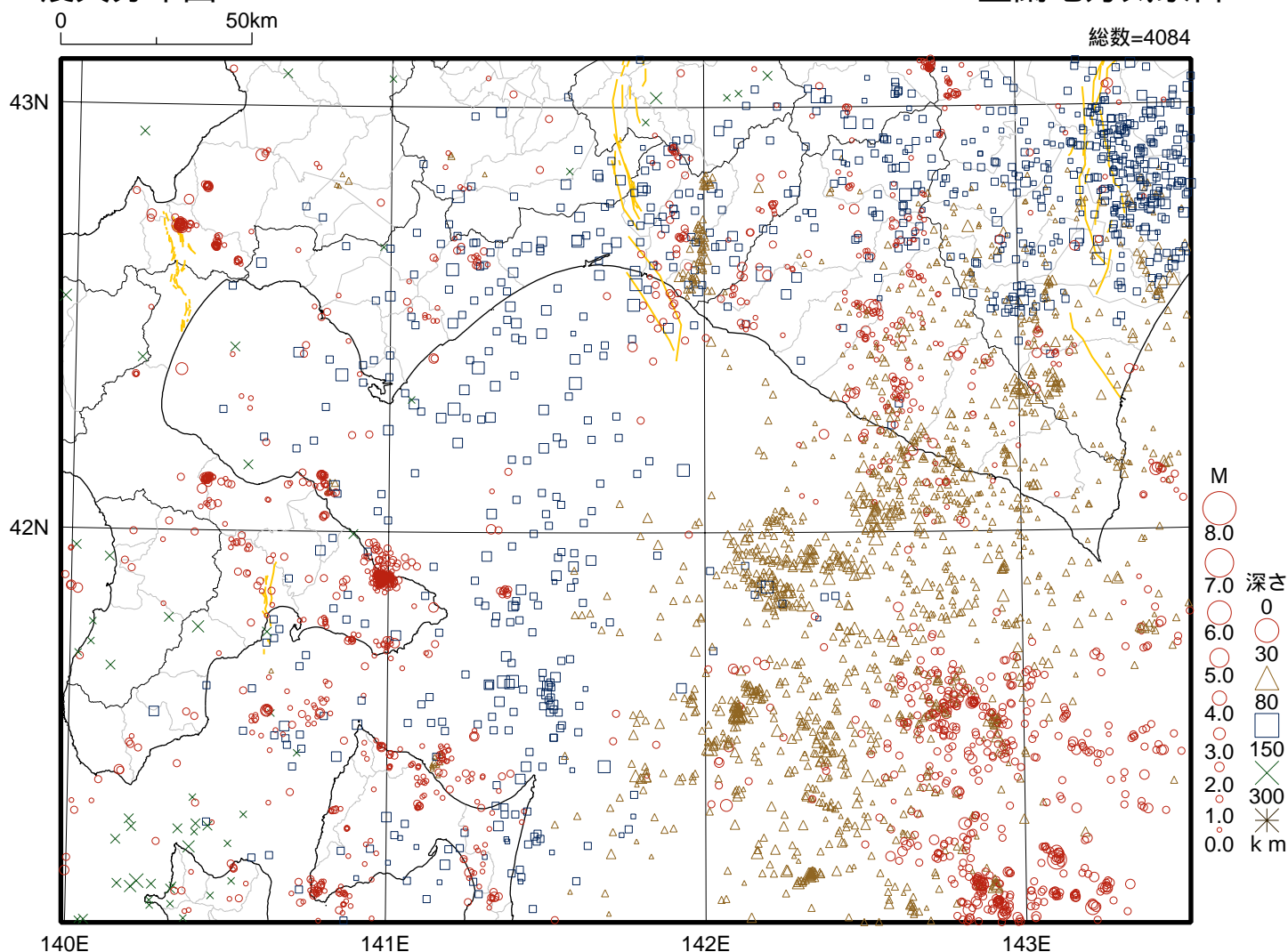


胆振・日高地方の地震活動図

2022年1月1日～2022年12月31日

震央分布図

室蘭地方気象台



地震概況（2022年1月～12月）

2022年に胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は55回（前年は71回）でした。このうち震度4以上を観測した地震は1回（前年は2回）でした。

年間を通して観測された最大の震度は4でした（「2022年胆振・日高地方の最大震度別・月別地震回数表」参照）。

1月15日13時10分頃（日本時間）、トンガ諸島付近のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、えりも町庶野0.8m、浦河64cm、苫小牧東港37cm、白老港33cm、苫小牧西港24cmの潮位変化を観測しました。

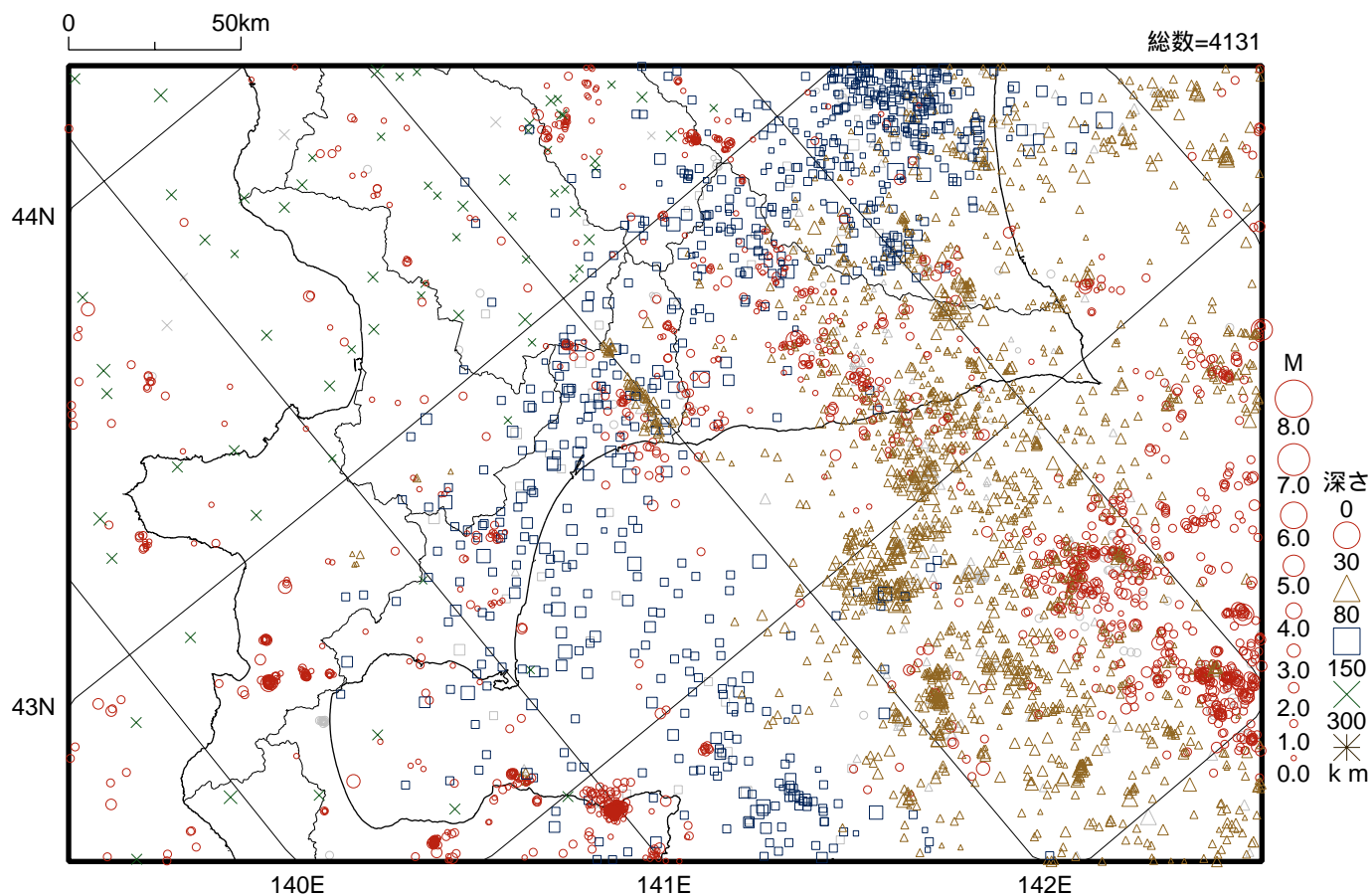
これらの潮位変化に対する注意を呼びかけるため、1月16日00時15分に北海道太平洋沿岸に津波注意報を発表しました（16日14時00分に解除）。

令和4年2月8日気象庁報道発表資料「令和4年1月の地震活動及び火山活動について」別紙5（<https://www.jma.go.jp/jma/press/2202/08a/2201vol-hthh.pdf>）p.42-44を参照。

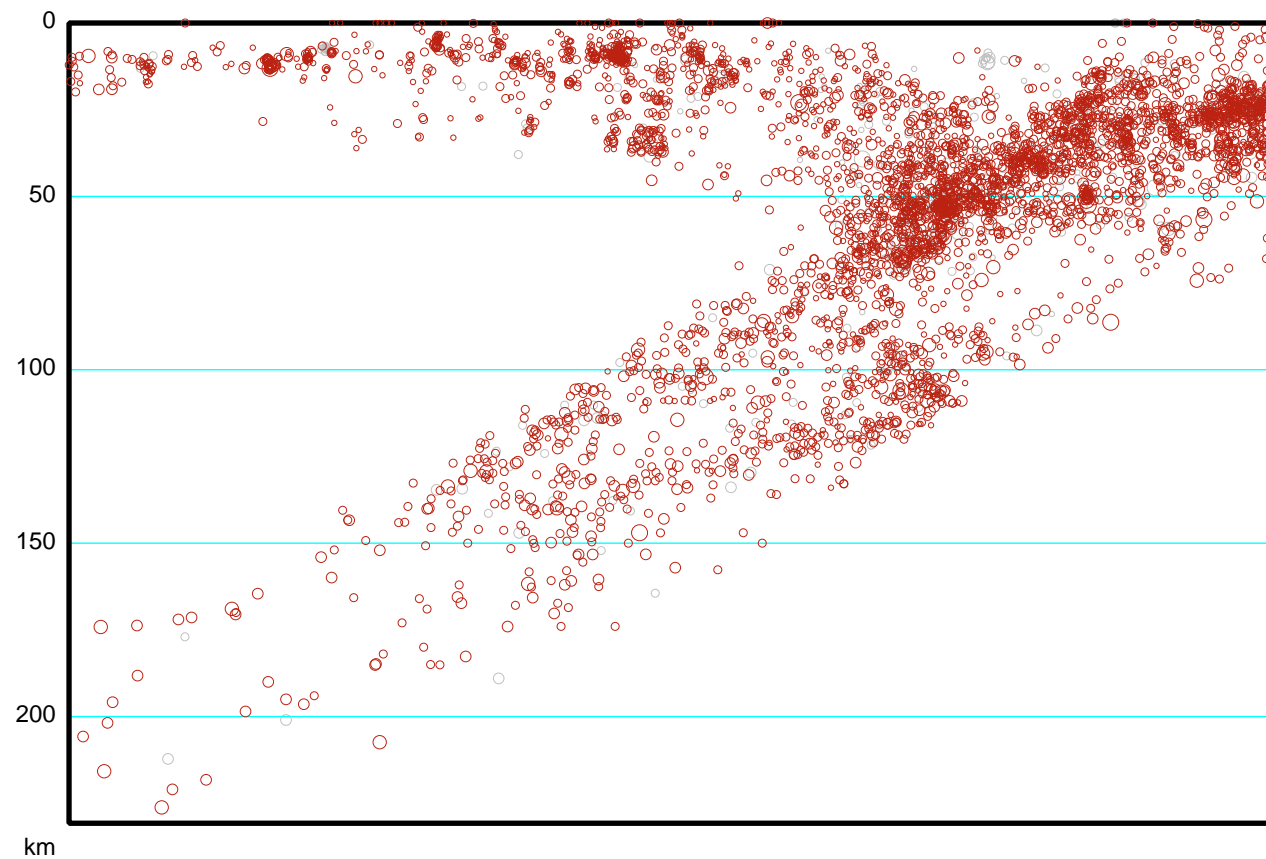
この活動図は、室蘭地方気象台のホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/muroran/>）に掲載しています。この資料に関する問い合わせ先 室蘭地方気象台 TEL 0143-22-4249

2022年1月1日 ~ 2022年12月31日

震央分布図



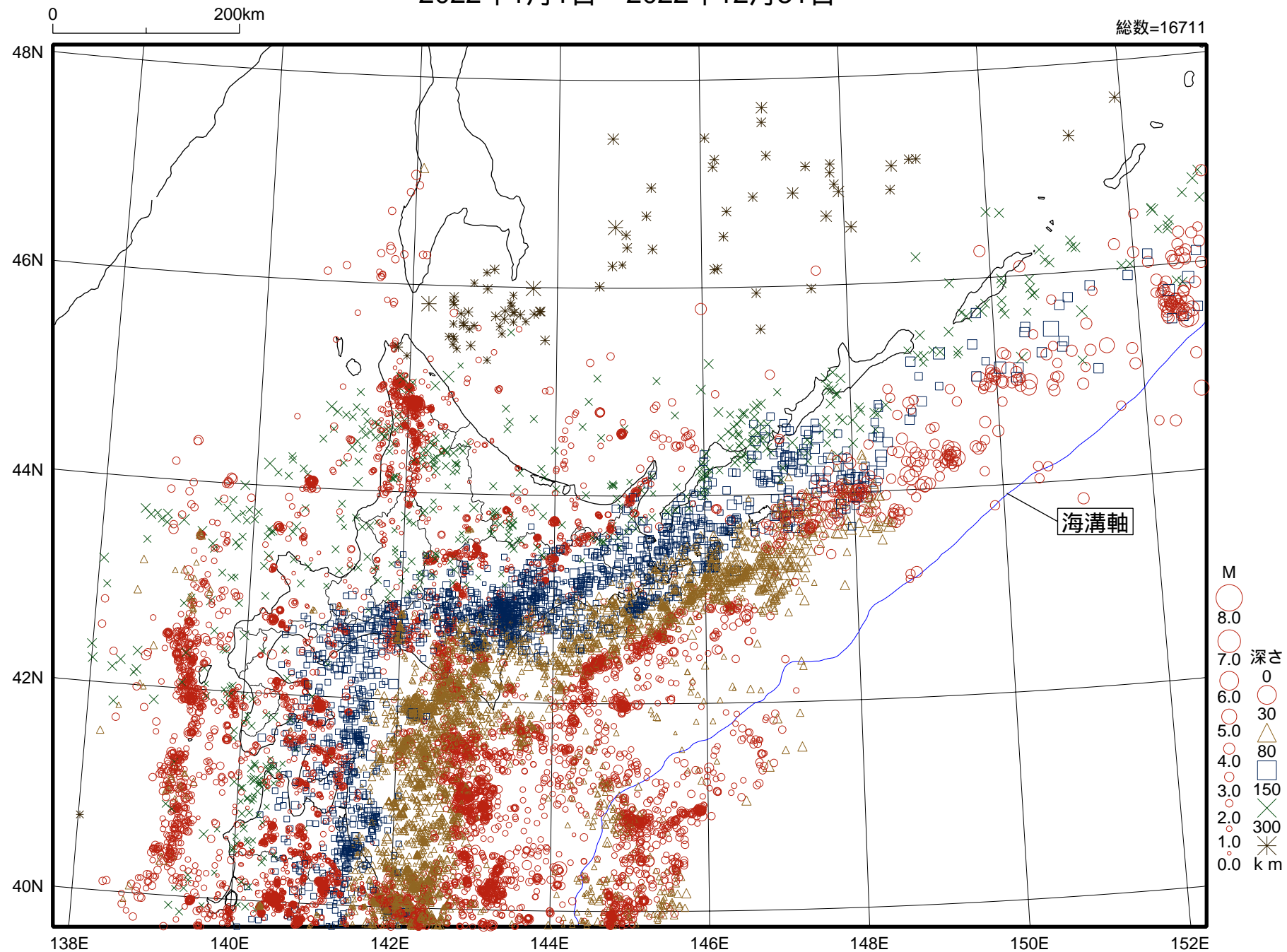
断面図



北海道の地震活動図

2022年1月1日～2022年12月31日

震央分布図

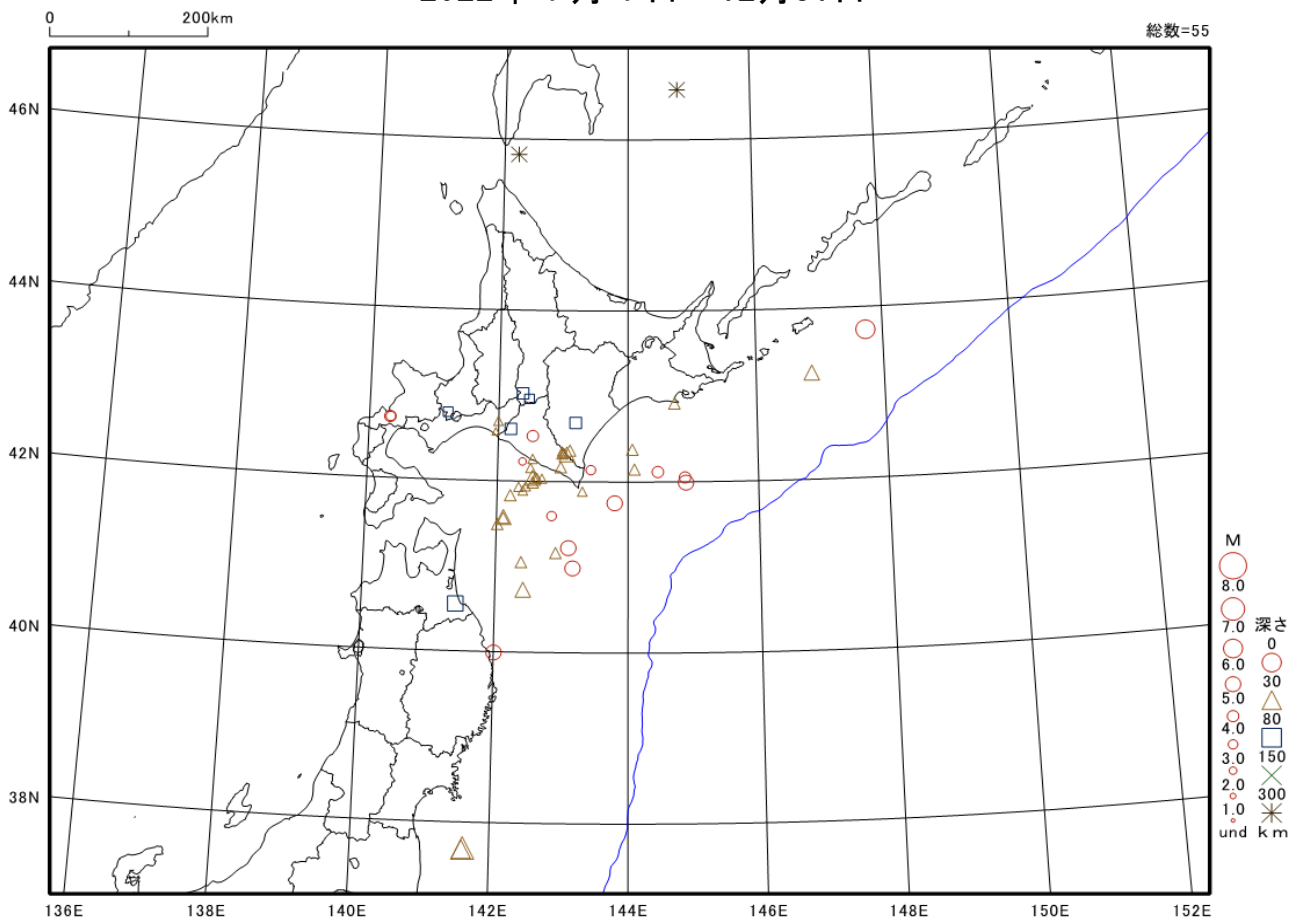


2022年 胆振・日高地方の最大震度別・月別地震回数表

震度 月	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小計
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
3	4	1	1	1	0	0	0	0	0	7
4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
5	1	1	2	0	0	0	0	0	0	4
6	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
7	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6
8	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
9	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
10	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
11	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
12	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4
合計 (2021年)	34 (39)	11 (24)	9 (6)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	55 (71)

2022年 胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の震央分布図

2022年1月1日～12月31日



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。